テーブル③　腎臓リハビリテーション

テーマ：多職種連携でつなぐ腎臓リハビリテーション

【企画内容】

・腎リハは腎疾患に基づく身体的・精神的影響を軽減し、生命予後・QOL・社会復帰を改善することを目的とする長期包括的プログラムである。運動療法のみならず、食事・水分管理・薬物療法、教育、心理的サポートを含む多職種連携が不可欠であるといわれている。しかし現場では、業務の多忙さ、職種間の情報共有の難しさ、スタッフのマンパワー不足などの課題から、円滑な実施が難しい側面もある。今回、多職種連携での腎臓リハビリテーションの取り組みを紹介し、参加者とともに議論・共有する場としたい。

タイムテーブル

10：00～10：30

1．A 病院での多職種連携への取り組み

１）運動療法の実践

◆多職種による医学的評価（病態・合併症・VS・症状・検査データ）、定期的な身体測定 IN-Body による評価(筋肉量、水分量、DW)

◆理学療法士による運動能力評価（QOL・ADL）

◆栄養士による栄養指導

◆SW との連携

◆理学療法士・看護師指導のもとで運動療法実施

２）患者・家族・医師・担当看護師による 1 回/年の面談、生活目標の確認

３）事例紹介

10：30～11：20

2, 意見交換

各施設での取り組み、現状、継続のための問題について

11：20～11：30

3. まとめ

【準備物品・資料等】

・事例紹介資料

担当者：松永、山口